

見る 食べる 買う

みなとオアシス 気仙沼



東北みなとオアシスネットワーク会議

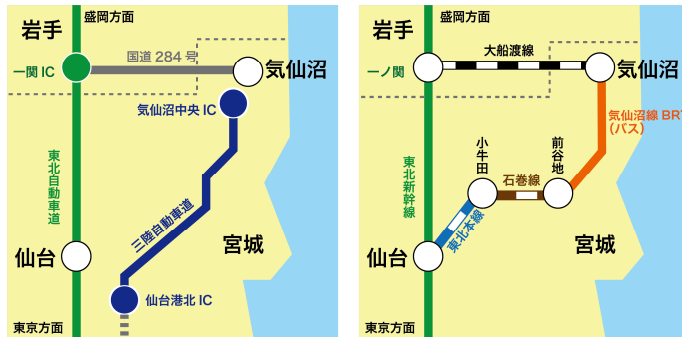
港湾空港部HP

港湾空港部 Facebook

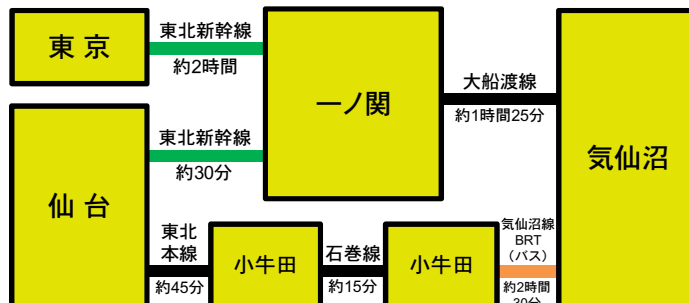
港湾空港部 Instagram



気仙沼へのアクセス

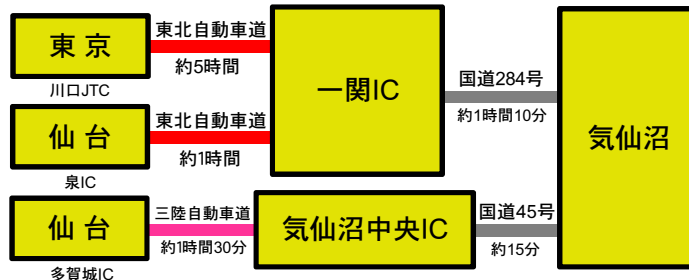


電車で行く！

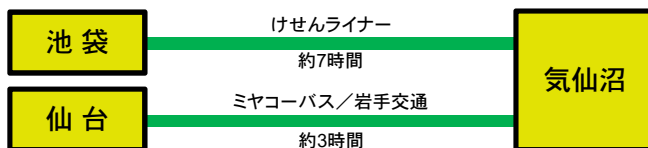


JR 気仙沼駅から代表施設「気仙沼まち・ひと・しごと交流プラザ『ウマレル』(PIER7)」まで徒歩約25分

車で行く！



高速バスで行く！



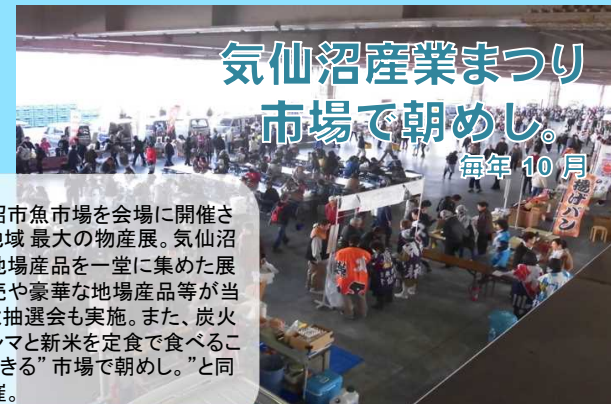
みなとオアシスエリアで行われる イベント情報 など

気仙沼みなとまつり 毎年8月第一日曜日とその前日



大漁や、航海安全などを祈って行われてきた市内最大規模の祭り。フィナーレには太鼓の大競演とともに湾内を海上うんづら(ねぶた)が運航し、打ち上げ花火が真夏の夜を彩る。

気仙沼産業まつり 市場で朝めし。 毎年10月



気仙沼市魚市場を会場に開催される地域最大の物産展。気仙沼市の地場産品を一堂に集めた展示即売や豪華な地場産品等が当たる大抽選会も実施。また、炭火焼サンマと新米を定食で食べることができる”市場で朝めし。”と同時開催。

気仙沼ペイクルーズ 遊覧船

土・日・祝日




内湾エリア発着の遊覧船。復興のシンボルである気仙沼湾横断橋や大島大橋の下をくぐり、湾を巡る約50分間の船旅。潮風を受けながらのウミネコへの餌やりは、お子さんに大変喜ばれる体験。

人と自然が輝き、 活力に満ちたまち、 海と生きる“気仙沼”

「みなとオアシス気仙沼」は、「人と自然が輝き、活力に満ちたまち、海と生きる“気仙沼”」をコンセプトに5つの施設で構成されています。気仙沼の海と人との「絆」を体感できるスポットへぜひお越しください♪

みなとオアシスとは？
 みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するものです。



ないわん

みなとオアシス気仙沼の代表施設
 気仙沼まち・ひと・しごと交流プラザ
 「創（ウマレル）」



ないわんは、商業施設「迎（ムカエル）」、「拓（ヒラケル）」、「結（ユワエル）」の4施設から成り、まち歩きしながらグルメや買い物を楽しめるスポットです。代表施設であるウマレルには、交流スペースや来館者が自由に弾けるピアノなどがあり、癒しの空間となっています。また、ウマレルとムカエルを繋ぐテラスは気仙沼湾が一望できる爽快スポットです。

気仙沼市観光キャラクター「海の子 ホヤほーや」



迎（ムカエル） 拓（ヒラケル） 結（ユワエル）

浮見堂 海の上を歩く幻想的なみち



停泊中の漁船がずらっと並ぶ気仙沼湾ならではの風景を楽しみながら散策ができます。

こちらにある全国でも珍しいカツオを抱えた立ち姿の「恵比寿像」は大漁と航海安全を祈願する気仙沼内湾のシンボルです。

P 無し ※内湾地区駐車場をご利用ください
 問 0226-22-4560
 住 宮城県気仙沼市魚町2丁目6-7

朝日ふ頭 気仙沼湾横断橋をダイナミックに見るなら！



気仙沼の復興のシンボル「気仙沼湾横断橋」を麓から見るができます。気仙沼湾の入り口なので風通しも良く、釣りスポットとしても人気です。

P 無し
 住 宮城県気仙沼市朝日町475



魚市場に隣接する観光物産施設 気仙沼「海の市」



物販店舗（10店舗）・飲食店舗（4店舗）

1階には氷の水族館、2階には日本で唯一のサメをテーマにした博物館「シャークミュージアム」や、観光案内所も併設しています。



営 8:30～17:00
 ※変更となる場合があります
 休 不定休
 P 普通車100台、大型8台（魚市場屋上駐車場も駐車可）
 問 0226-24-5755
 住 宮城県気仙沼市魚市場前7-13
 HP <https://uminoichi.com/>

気仙沼の海の玄関口 気仙沼市魚市場



世界三大漁場の一つである三陸沖の漁場から、毎日旬の魚介類が大漁に水揚げされる気仙沼の海の玄関口。特にカツオ、サンマ、メカジキ、サメなどは全国屈指の水揚げ量を誇ります。見学可能です。

営 5:00～12:00
 休 不定休
 P 200台
 問 0226-22-4560
 住 宮城県気仙沼市魚市場前8
 HP <https://kesenuma-uochiba.jp/>